

LINEAR TO KAMEYAMA

リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議会報

第14号 [令和8年4月]



提供：山梨県立リニア見学センター

会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化
推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井義之

陽春の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、リニア中央新幹線の整備につきましては、先行開業を目指す品川・名古屋間において、未着工であった山梨県においても中間駅の整備工事に着手されるなど、困難な諸課題に直面しながらも沿線各地で鋭意建設工事が進められています。

とりわけ、リニア中央新幹線南アルプストンネル静岡工区においては、大井川の水資源や南アルプスの環境への影響など、建設主体である東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）と静岡県との対話に国も入り、早期工事着手に向けた協議が着々と進められています。

また、名古屋・大阪間では、JR 東海によりまして、令和5年12月より環境影響評価に着手されており、リニア中央新幹線の概略ルート及び概略駅位置の絞り込みに必要なボーリング調査など、継続した調査が着実に進められています。

このように、リニア中央新幹線の整備は、国家的プロジェクトとして、着実に、そして、力強く前進するとともに、昭和・平成・令和の時を超えた取り組みが、新たなステージへと進んでいます。

一方、在来線におきましては、本市民会議の長年にわたる取り組みにより、この春、関西本線（亀山・名古屋間）の全車両が新型車両へと更新され、4両編成となるほか、来春には、紀勢本線へとTOICAエリアが拡大されることが決定するなど、在来線の利便性が向上します。

また、関西本線（亀山・加茂間）では、昨年の11月と12月に関西本線活性化利用促進三重県会議（三重県、亀山市、伊賀市、西日本旅客鉄道株式会社）によりまして、関西方面からの誘客や沿線の活性化を目的とした観光列車「はなあかり」の実証運行が実現し、関西本線（亀山・加茂間）の認知度向上と沿線の魅力発信が図られました。

こうした活動が一過性のものとならないよう継続した取り組みを展開するとともに、これらを契機に、「もっと乗って、もっと便利に」を合言葉に、ぜひ、積極的に市内を走る鉄道をご利用いただき、在来線のさらなる活性化と利便性向上につなげてまいりましょう。

当市民会議といたしましても、引き続き、リニア中央新幹線の早期全線開業とリニア市内停車駅の実現、そして、発足当初からの目標である関西本線、紀勢本線の複線電化と更なる利便性向上に向けて、関係機関と協力しながら、精力的に展開してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特集

リニア中央新幹線の 早期全線開業に向けて ～着実に前進するリニア中央新幹線の整備～

着実に前進する先行開業区間（品川・名古屋間）の整備

リニア中央新幹線の整備については、建設主体である JR 東海により、先行開業区間となる品川・名古屋間の沿線各地で鋭意工事が進められています。

こうした中、未着手となっている南アルプストンネル静岡工区では、早期着手に向け、大井川の水資源への影響については、国土交通省の「リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議」の「大井川水資源問題に関する中間報告」を、南アルプスの環境保全については、有識者会議の「リニア中央新幹線静岡工区に関する報告書（令和5年報告）～環境保全に関する検討～」を踏まえ、静岡県をはじめとする関係者と JR 東海に加え、国土交通省も入った対話が重ねられています。

このような中、令和8年1月には、静岡県と JR 東海において、リニア中央新幹線整備工事で大井川の水利用に影響が出た場合の補償に関する確認書が締結され、10年ほど続いてきた大井川の水資源問題に関する議論が大きく進展しています。さらに、令和8年2月には、静岡県と JR 東海において大井川上流部におけるトンネル工事に必要なヤード拡張や造成などの準備工事のための協定を締結し、工事に着手されるなど、南アルプストンネル静岡工区の早期の本工事着手に向けて着実に前進しています。

また、リニア中央新幹線の先行開業区間となる品川・名古屋間の中間駅では、唯一未着工であった山梨県においても、令和8年3月よりリニア駅整備工事に着手されるなど、各県で駅周辺を含めた整備工事が着々と進められています。

その中でも、三重県と隣接する愛知県の JR 名古屋駅の地下では、現在、ターミナル駅となるリニア名古屋駅の整備が JR 名古屋駅と垂直方向に JR 名古屋駅東口に広がる全国屈指の超高層ビル街を貫く形で進められています。

特に JR 名古屋駅新幹線ホーム側の太閤通口から 200 m ほど北に進んだリニア名古屋駅整備工事箇所では、リニア名古屋駅の区域となるビル等の立ち退きが進み、延長約 900 m とされるリニア名古屋駅の工事が着々と進められていることが確認できます。



山梨県リニア実験線



リニア山梨県駅整備予定地

進化を続けるリニア車両

JR 東海では、現在もリニア車両の開発が進められており、令和7年7月には、令和2年のL0(エルゼロ)系改良型試験車の導入以来5年ぶりに環境負荷低減などを反映した新しいL0系改良型試験車の中間車「M10(エムジュー)」が投入されました。

このリニア中間車は、環境性能の向上をテーマに、サメ肌を模したフィルムを貼ることで、空気抵抗を軽減し、消費電力の低減が図られるとともに、車両デザインは、無塗装のシルバーボディに高速に流れる光をイメージしたゴールドラインが配され、未来感のあるデザインとなっています。

また、リニア中間車の名称「M10」ですが、この名前の由来は、磁気浮上式の鉄道を意味する英語(maglev)の頭文字「M」と、L0系から数えて10番目に造られたことを意味する「10」を組み合わせた名称となっています。

このように、リニア車両は、技術開発とともに更なる環境負担の軽減と利便性の向上に向けた取り組みが進められています。



L0系改良型試験車 M10(中間車)
提供：山梨県立リニア見学センター

先行開業区間(品川・名古屋間)の中間駅整備状況視察《岐阜県中津川市》

本市民会議では、先行開業区間(品川・名古屋間)の動向に注視しつつ、先行開業区間のリニア整備工事の状況やまちの現状などを把握するため、昨年11月21日(金)、本市民会議の会員を対象に岐阜県中津川市におけるリニア中央新幹線整備工事の現地視察を実施しました。

リニア中間駅が整備される岐阜県中津川市では、リニア駅整備工事のほか、中部総合車両基地整備工事や駅周辺の土地区画整理事業など、市内各所で大規模な整備工事が進められている状況にありました。中でもリニア駅整備工事箇所では、リニアがリニア駅から車両基地へと向かう回送線の橋脚部分の工事が進められるなど、着々とリニア整備事業が進められていることを視察することができました。

一方、リニア駅整備地から9kmほど離れたJR中津川駅周辺では、亀山市に有する東海道の宿場と同様、中山道の宿場等の観光を目的とした訪日外国人や国内旅行者で賑わうとともに、駅近くに整備された子育て支援・市民交流・学び(図書館)・観光の4つの機能をひとつに集めた複合施設「中津川市ひと・まちテラス」では、学生や市民、旅行者などが集い、まちの賑わいが創出されていました。

また、中津川市では、JR中津川駅前の中心市街地のまちづくりにおける関係人口の拡大に向けて、JR東海と連携協定を締結され、二地域居住の促進、人材育成、事業者支援、産学官連携などの幅広い分野で協力し、持続可能な都市モデルの構築を目指した取り組みが進められているとのことでありました。



木曽川第2橋梁整備工事(苗木城跡より)



リニア駅周辺整備地視察状況



リニア駅周辺整備工事

令和7年度のリニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議活動

リニア中央新幹線・JR 線電化推進亀山市民会議では、「LINEAR TO KAMEYAMA ～昭和・平成・令和の時をつなげ～」、「もっと乗って！もっと便利に！」を合言葉に、リニア中央新幹線の早期全線開業や市内停車駅誘致の機運醸成と在来線の利便性向上に向けて、様々な推進活動を展開しました。

❖ 総会・講演会

令和7年7月1日（火）亀山市文化会館中央コミュニティセンターにおいて、関係者約70名出席のもと、令和7年度リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議総会を開催し、令和6年度の事業報告や令和7年度の事業計画が承認されました。

総会終了後には、会員を対象とした講演会を開催し、地域経済や都市戦略に関する研究において、リニア開業後の名古屋市の都市戦略や産業政策のほか、地域経済調査研究に従事されている名古屋学院大学現代社会学部の江口忍教授をお招きし、「リニア時代の亀山市の都市戦略」と題し、東海道新幹線新横浜駅の事例等も踏まえつつ、「住む町」「来る町」の方向性等について、ご講演いただきました。



令和7年度総会の様子



講演会の様子

❖ 次世代を担う子どもたちを対象とした取組

令和7年8月2日（土）、恒例行事となった「リニア・鉄道親子学習会」を開催し、抽選で選ばれた19組38名の参加者により、愛知県名古屋市にある「リニア・鉄道館」と「名古屋市科学館」を訪れ、リニアや鉄道の歴史等について、親子で楽しく学んでいただきました。また、三重県と連携を図った「亀山市勤労者ファミリーフェスタ」へのリニアPRブース出展や亀山市立図書館における「リニア三重県駅のある未来の亀山を想像したジオラマ」の展示・走行を実施するなど、リニア中央新幹線の早期全線開業と在来線の利便性向上に向けた利用促進などのPR活動を展開しました。



リニア・鉄道親子学習会



ファミリーフェスタ

❖ 中央要望活動

令和7年10月16日（木）、リニア中央新幹線の早期全線開業と市内停車駅の早期決定、複線電化や駅機能充実による利便性向上などを求めるため、国や三重県選出の国会議員、関係機関に対して要望活動を実施しました。

《要望内容》

- リニア中央新幹線
 - ・三重・奈良ルートによる早期全線開業
 - ・三重県期成同盟会にて決議された候補地への停車駅決定
- 在来線
 - ・亀山駅を中心とした複線電化の早期着手
 - ・IC乗車券サービスの利用拡大や駅機能の充実による利便性の向上 など



国土交通省鉄道局への要望風景



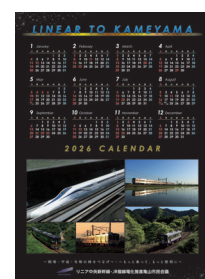
要望書

❖ PR 活動

本市民会議では、PR カレンダーの作成配布や会報発行を行うほか、令和6年7月に完成した「リニア三重県駅のある未来の亀山を想像したジオラマ」を亀山市立図書館や市役所等に展示し、リニア中央新幹線の早期全線開業と市内停車駅誘致の機運醸成を図るとともに、在来線の利用促進 PR 活動に取り組みました。



ジオラマ展示（図書館）



PR カレンダー



在来線～「もっと乗って！もっと便利に！」～

●関西本線（亀山・名古屋間）、紀勢本線（亀山・多気間）

本市民会議では、長年にわたり在来線の利便性向上に向けて、関係機関への要望活動を行うなど積極的な活動を展開してきました。その結果、関西本線（亀山・名古屋間）における車両更新や紀勢本線（亀山・多気間）へのIC乗車券サービス利用可能エリア拡大などにより、利便性が向上します。これを契機に、ぜひ在来線をご利用いただき、更なる利便性の向上につなげましょう。

関西本線（亀山・名古屋間）

- ・全車両が新型の315系の4両編成に！（2026年3月より順次更新）

新型車両は、全席ロングシート化と車両数の増加で大量輸送が可能となるほか、バリアフリー設備の充実をはじめ、車内防犯カメラの新設、開放感あふれるインテリアなど、乗車中の快適性や安全性が向上します。また、車両更新に合わせて完全ワンマン運行となり、すべてのドアから乗り降りが可能になるほか、井田川駅には券売機が新設され、きっぷの購入やのりこし精算が可能になりました。



新型車両 315 系と JR 井田川駅の券売機

紀勢本線（亀山・多気間）

- ・紀勢本線にTOICA利用エリアが拡大！（2027年春）

市内で唯一IC乗車券サービスが導入されていなかった紀勢本線(亀山・多気間)において、2027年春からTOICA利用エリアが拡大されることが決定し、利便性が向上します。



紀勢本線

●関西本線（亀山・加茂間）

昨年11月と12月に関西本線（亀山・加茂間）では、関西本線活性化利用促進三重県会議（三重県、亀山市、伊賀市、西日本旅客鉄道株式会社）により、関西方面からの誘客や利用促進による沿線の活性化の取り組みの一つとして、「地域の華を列車に集め、お客様と地域の縁を結ぶ列車」がコンセプトである観光列車「はなあかり」の実証運行が実施されました。

京都駅から伊賀上野駅、関駅を結ぶ観光列車が運行された昨年11月12日（水）、26日（水）、12月3日（水）の3日間は、関駅を中心に関認定保育園アスレの園児や地域の方々、関係者などがお出迎えとお見送りを行うなど、実証運行により賑わいが創出されていました。こうした効果を一過性のものとすることなく継続させるため、今後も関西本線の一層の活性化が図られるよう、本市民会議としまして、関係団体との連携を図りつつ、更なる鉄道の利便性向上と活性化に向けて利用促進活動等に取り組んでまいります。



観光列車「はなあかり」実証運行のお出迎えの様子

「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」・「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」のホームページでは、リニア中央新幹線の広報動画やキッズ向けのサイトが開設されています。ぜひご覧ください。

また、三重県とリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会が運営する「みえリニアポータルサイト」では、「みえリニア応援クラブ」の会員を募集しています。入会金・年会費は無料で、会員特典として、リニアオリジナル啓発グッズ（非売品）がプレゼントされます。



◀リニア中央
新幹線建設
促進期成
同盟会



◀みえリニア
ポータル
サイト

会員一覧

団体会員（順不同）

亀山市
 亀山市議会
 亀山市教育委員会
 亀山市農業委員会
 亀山市自治会連合会
 亀山市地域まちづくり協議会連絡会議
 亀山商工会議所
 （一社）亀山青年会議所
 亀山青年会議所シニアクラブ
 （一社）亀山市観光協会
 亀山ライオンズクラブ
 亀山ロータリークラブ
 鈴鹿農業協同組合
 三重茶農業協同組合
 亀山市婦人会連絡協議会
 亀山地区労センター
 鈴鹿森林組合
 （一社）三重県建設業協会 亀山支部
 亀山地区労働者福祉協議会
 三重県建設労働組合 亀山支部

〔20 団体〕



LINEAR TO KAMEYAMA

企業会員（五十音順）

アパホテル<三重亀山>
 あんしん介護（株）
 （株）安全
 （株）エイチワン 亀山製作所
 N T N アドバンストマテリアルズ（株）
 （株）エフテック 亀山事業所
 カメヤマ（株）
 亀山瓦斯（有）
 亀山急送（株）
 （株）亀山ショッピングセンター
 亀山製絲（株）
 北伊勢上野信用金庫 亀山支店
 協同油脂（株） 亀山事業所
 （株）キンレイ亀山工場
 （有）草河乳業
 高圧昭和ボンベ（株）
 （有）小菅金物
 さくらさくら不動産（株）
 （株）三十三銀行 亀山支店
 （株）ジェイテクト 亀山工場
 島内建設（株）
 （有）写真のワカナ
 シャープディスプレイテクノロジー（株）
 昭和パックス（株） 亀山工場
 白川建設（株）
 （有）シラカワ
 鈴鹿インター（株）
 （株）スチールセンター 亀山事業所
 （株）セキデン

（株）大紀アルミニウム工業所 亀山工場
 （有）大和不動産
 田島シルク（株）
 中部電力パワーグリッド（株） 鈴鹿営業所
 東海労働金庫 亀山支店
 東洋電装（株） 亀山工場
 （株）栃木屋
 （株）豊田自動織機
 （株）長田建材店
 （有）ニシムラ
 日東電工（株） 亀山事業所
 パナック（株） 亀山工場
 （有）ハーモニー原田
 （株）百五銀行 亀山支店
 （株）プラザチェーン
 古河電気工業（株） 三重事業所
 堀田建設（株）
 （株）ホンダオート 三重中亀山店
 （株）ミヤガク中京
 （カメヤマドライバースクール）
 （株）宮長
 （有）むかい
 （株）村山ガス
 （有）保田ガラス店
 柳河精機（株） 亀山工場
 山川運輸（株）
 （株）ヤマシタ 三重事業所
 （株）米津グリーンメンテ
 リケンテクノス（株） 三重工場

〔57 社〕

リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議とは

当市民会議は、昭和 42 年 5 月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成 4 年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成 13 年から平成 18 年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA ~昭和・平成・令和の時をつなげ~」・「もっと乗って！もっと便利に！」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、本市を中心とした在来線の複線電化や利便性向上を目指し、関係機関と連携した強力な推進活動を展開していきます。

なお、当市民会議は、会員各位からの会費と市補助金により運営しており、こうした活動にご賛同いただける会員を募集しています。

詳細は、下記事務局までお問い合わせください。

（事務局：亀山市政策部政策推進課内 0595-84-5066）

年 表

昭和 42 年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和 62 年	国鉄の民営化に伴い、「JR 複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成 4 年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成 6 年	「リニア中央エクスプレス・JR 複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成 13 年	市民対象のリニア試乗会を開始（～平成 18 年）
平成 21 年	「リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

発行者：リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議

編 集：リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議事務局（亀山市政策部政策推進課内）〒 519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地

T E L : 0595-84-5066 E-mail : kotsu@city.kameyama.mie.jp